

# 機能別消防団制度の設置を。

答 今の時代に合った対応を検討してまいります。

## 消防団員の確保を

**問** 令和3年度末のデータでは、消防団の条約定数513人のところ、実員数が462人へ減少した原因を伺います。

### 総務課長

今年度から処遇改善により、団員報酬プラス出勤手当が個人の口座へ振り込みという形となり、昨年度までの実員数とのカウントの捉え方が変わりました。また、新規入団者より退団者が増したことも原因と考えています。

**問** 消防団の平均年齢は42・3歳、20歳以下は4人です。この状況をどのように考えますか。

### 町長

町は3人に1人が65歳以上の高齢者で、若い世代が少ないため、少子高齢化が原因の一つに含まれていると考えています。

**問** 町内7分団のうち第3分団、第5分団の実員数が約20%ずつ減っているが、活動に支障はないか伺います。

### 総務課長

どのような支障が出てくるのかを絶えず常備消防と検討し、また、出勤範囲や班そのものの構成の仕方も研究し、検討をしていかなければならぬ

と考えています。

**問** 機能別消防団制度を設けていただきたいが、町の考えを伺います。

### 総務課長

大規模災害に町内企業、消防団OB、自主防災組織など地域連携の作用が大切と考えます。

**問** 県消防学校でも特別教育として、小型ドローンの基礎研修やオフロードバイクの研修などが実践されています。今の時代に合った機能別分団を発足できませんか。

### 町長

災害時にドローンを使って協力したいという町民の方々もいるため、意欲を吸い上げて



時代に合った制度の設置を

橋本 孝之 議員

所要時間 60分



今の時代に合った消防、災害対応の在り方を研究、検討していきたいと思えます。

## これからの多古米は

**問** WCS、飼料米などの助成金を早期に支払いできないか伺います。

**町長** 水田活用直接支払交付金は、町を経由せず直接農家に交付されるため、支払い手続きに町は関与することができません。国によると、千葉県は早場米の産地であることから、交付金の支払いは12月に早められており、また、概算払いや町による立て替えはできないとのこと。

**問** 今後のWCS、飼料米など畜連携の取り組みを伺います。

### 産業経済課長

世界情勢を鑑みても輸入飼料が高騰している中、自給飼料を確保す

るとともに、たい肥を農地に還元するなど、「みどりの食料システム戦略」の方向性を踏まえ、畜連携の取り組みを強化する必要があると考えています。

**問** 多古米で育った畜産物のブランド化をPRすべきでは。

### 産業経済課長

多古米を食べて育った牛、豚、鳥などの畜産物のブランド化が図られるのであれば、PRにつなげていきたいと考えています。

**問** WCS刈り取り後の水田活用について町の考えを伺います。

### 産業経済課長

WCSの裏作として、畑作化して高収益作物を生産できれば経営が安定します。今後、新たな裏作を推奨する必要があると考えています。

## 農作物を守るために

**問** 農業に悪影響を及ぼす水草ナガエツルノゲイトウの駆除について町の考えを伺います。

### 町長

多面的機能支払交付金事業の全対象区に、その脅威や駆除方法を周知し、生息が確認された地区では、香取農業事務所の指導をいただきながら駆除方法の検討を行いました。また、担当課が成田土木事務所と直接伺い、対策を実施していただくよう強く要望しました。

# 循環バスに代わる交通手段は。

答 デマンドタクシーを考えています。

## 新しい交通手段は

**問** 循環バス久賀ルートの廃止後、今まで利用されていた方の現状の交通手段はどのようなになっていますか。また、順次廃止となる循環バスに代わる交通手段は考えていますか。

### 町長

令和4年度のデマンドタクシー新規登録者のうち、3分の1が久賀地区の方で、高齢者の方々は循環バスに代わる交通手



中学生の利用に向けて

段として、デマンドタクシーをご利用いただいているものと捉えています。また、中学生については、1月から久賀地区でデマンドタクシーの実証運行を実施する予定です。

**問** 実証運行の結果、中学生のデマンドタクシー利用が可能ななった場合、町の対応を伺います。

### 企画政策課長

通学時間に合わせて、7時から30分間を中学生のみの利用とします。また、乗降場所は旧久賀ルートバス停からコンプラまでとし、料金は受益者負担の原則と生徒間の公平性を図ることから、1乗車400円、回数券使用で300円とします。これは、今のデマンドタクシーと同じ運行形態です。

**問** 本町は、県下の町村で2番目に広く、鉄道もありません。義務教育である中学生が安全に通学できるような手段、また、運転ができない高齢者の方々の交通手段をよく検討していただきたいと思えます。

### 企画政策課長

今後の利用状況などを鑑みて、検討させていただきます。

行橋 千春 議員

所要時間 59分



## 移住・定住促進に向けた取り組みは

**問** イベント事業が、町から観光まちづくり機構に委託され、さまざまな体験イベントなどが実施されましたが、町職員の負担軽減や新しいイベントのやり方など再発見はあったのか伺います。

### 企画政策課長

一番は、町民参加です。町民の方々が進んで参加し、積極的に取り組んでいただいたことで、町職員の負担が軽減されたと考えています。

**問** 農業体験イベントなどがあるから移住・定住へとつながるようなお話し居住や、タイニーハウスなどの施策についてどのように考えますか。

### 企画政策課長

体験イベントは多くの方が訪れ、町の魅力が非常によく引き出さ



多くの方が参加した農業体験

※タイニーハウス…生活に必要な最低限の設備のみが設置されているシンプルで小屋のようなサイズの家。

※Whole Crop Silage (ホールクロップサイレージ)…本来、米として収穫するものを穂が出て間もない時点で繊維の多い茎葉部分と栄養価の高い穂の部分と一緒に刈り取り、フィルムで密閉し発酵させ、飼料とするもの。